

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>(1) 旧城南町指定文化財の指定について 市長も「熊本文化」という冊子を見られたかと思う。11月号に、城南城址のことが書いてある。 城南町は歴史が豊かなまちで、たくさんの史跡や城南町指定の文化財がある。合併特例区の時から、町指定の文化財を熊本市指定にするようお願いしていた。 しかし、遅々として進まない。合併特例区が終わるころに聞いたら、まだ検討中との返事であった。検討して市の指定になればいいが、もし、ならなかった場合が心配である。城南と同様に、植木にも文化財はたくさんある。市指定にならなかった文化財については、区指定の文化財にはできないのだろうか。 文化財には、国指定、県指定というものもあるが、市の指定ができないのであれば、南区指定文化財という形で指定をお願いしたい。とにかく早く作業を進めてもらいたい。</p>	<p>市指定の文化財についてご意見をいただいたが、合併町の文化財の指定の作業がまだできていないというのは、実は初めて聞いたところである。持ち帰らせていただき、文化振興課などと話をしたい。 熊本の歴史・文化を磨くことはまちづくりの基礎である。そこに元々ある本来の歴史や文化を大事にしないところは、いずれ衰退していくと思う。市長になり、海外へも数回出張したが、フランスでは、日本文化がいかに憧れられているのか目の当たりにした。これは、市内だけでなく県全体、ひいては九州全体の文化を大事にしなければならぬことにもつながる。 例えば、植木でも今月中に田原坂資料館がオープンする。田原坂は、単に西南戦争の地というだけではなく、日赤発祥の歴史があり、敵味方の区別なく救おうという赤十字の精神が生まれたところでもある。もちろん、ここ城南においても、塚原古墳群をはじめ、さまざまな歴史性のあるものがあるので、それらを大事にしなければならない。</p> <p>(旧町指定文化財のうち、価値の明らかなものについては、市指定を行ってきた(旧植木町分11件、旧城南町分5件)。その他の文化財についても、調査を続けているが、資料がほとんど無かったり、土地の旧状が大きく変更されているなど、文化的な価値の判断が難しいものも多く、調査・検討に時間を要している。【文化振興課】)</p>	観光文化交流局 南区役所	文化振興課 総務企画課
	<p>(2) 旧跡等の案内板の整備について 城南町時代にまちの教育委員会が立てた「札の辻」という木製の案内板があるが、もう朽ち果てようとしている。 また、城の鼻公園にたどり着けなかったというエッセイを読んだこともある。その城の鼻公園に登っても、途中で簡単な説明板はあるものの、現地には何もない。昔は隈庄城があり、豊臣秀吉が来たりもしているのに今は何もないので、昔の写真入りの案内板などを設置できないか。</p>	<p>木の案内板が朽ち果てているのは、非常に見苦しい。予算のこともあるが、改善の検討をする。 先日、立田自然公園の中にある泰勝寺で催された各流派のお茶会に出席したが、注意書きや由来が書いてある看板がボロボロだったので、その写真を撮って担当課に見せた。既にない部暑名なども昔のままとなっていた。 このようなものも一つずつ見ていく必要がある。市民の皆様にも気付いたら教えていただきたい。優先順位もあるので一度には無理だが、できる限り努力して取り組んでいきたい。</p>	観光文化交流局 都市建設局	文化振興課 西部土木センター 城南地域整備室
2	<p>地域のまつりへの助成について 5年間の特例区の期間が経過し、全てがゼロになったような状況である。 そのような中、10月25日、昨年までの火の君まつりを第1回塚原古墳まつりとして、予算が無いにもかかわらず実行した。その際、若い親御さんや子ども達がたくさん来てくれたことに感激した。これからの日本を背負って立つ子ども達の参加に感銘を受けた。 城南には後世に残すべき文化財があり、有形文化財の他に、祭りの中で行われる「沈目の大蛇踊り」もある。これだけ大掛かりな大蛇踊りを総勢80名足らずで行うのは、全国的にも珍しいのではないか。ぜひ、子ども達に見てもらい、今後とも地元に残していかなければ、文化が消えてしまうと思う。 しかし、予算がなかなか無い。今年は、昨年の残りとも市から約30万(地域コミュニティづくり支援補助金/南区役所)、JAから約25万の協賛があり、祭り自体は成功だったが、予算的に大変厳しい状況である。 そこで、今後も祭りを実施していくために、ぜひとも市の援助をお願いしたい。JAとしては、行政主導で行うものは協賛できるが、1団体としての祭りには協賛ができないようである。今回、今年に限って援助してもらったが、来年はそれも望めなくなるので、ぜひお願いしたい。今、私達が元気で働いている間は良いが、寝たきりになってしまうと、子ども達に面倒を見てもらわないといけない。その子ども達や地域を大事にしたいと考えている。</p>	<p>祭りは、お年寄りから若い世代まで幅広い年代が参加できるものであり、地域が一体となって作り上げていくものでもあるので、そのようなものを次世代につなげていくという意味でも非常に重要だと思う。 助成のあり方を含めて考えていきたい。</p>	南区役所	総務企画課
3	<p>区対抗の体育大会について 私は、長年テニスをしてきた経験から、体育によるまちづくりを提案したい。 現在、熊本市には種目別には校区対抗のスポーツ大会があり、校区体育祭もある。南区では、区民の一体感の醸成がまだ十分ではないようなので、区ごとのまとまりをつくるためにも、区対抗の体育大会を実施できないか。これは熊本市をまとめるイベントとしても有効である。 下益城郡時代は、県民体育祭の前に郡民体育祭として町村対抗の体育大会が実施されており、町や郡のまとまりがあったように思う。これと同様に、県民体育祭の予選を区対抗で8月くらいに実施してはどうだろうか。</p>	<p>現在も校区のスポーツ大会などは実施しているが、今回、区ごとに体育大会をというご意見をいただいた。しかし、南区体育協会など区ごとに体育協会はない。あるのは熊本市体育協会と小学校区単位の体育協会であり、私も帯山西小学校区体育協会の会長をしている。実際に協議の会長をして、地域の運動会に出ていて思うが、このような会があるといういろいろな人が地域に参加する機会が増える。 ただ、県体の予選ということになると、相当な実力者ばかりを揃えることになると思われ、どういう形でできるかは分からない。 県体自体も、市対郡になると、人口が多く選手層も厚い熊本市がずっと総合優勝している状況である。これでいいのかという話もあるが、逆に負けてもいいというわけでもないため、なかなか難しいところである。 いただいたご意見も基に、体育協会などとも協議しながら考えていきたい。</p>	観光文化交流局	スポーツ振興課

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>（１）江津湖の景観について 熊本市に住んで7年目になる。水前寺江津湖の外來種駆除、水草刈取船の導入については知っている。 ここで疑問に思っていることがある。熊本市には、環境景観を守る条例はあるのだろうか。私は県南の出身で、江津湖は市民の憩いの場だと聞いていた。勤務先が東区にあり、東バイパスなどで江津湖近くを通ることがあるが、家や店ばかりで最初のうちは江津湖がどこかわからなかった。信号待ちで停まった際に江津湖を見ても、ビニールが浮いていたり水草が覆いかぶさっていたりする。また、水際から周囲の木の幅が狭い。航空写真を見ると、ほとんど水しかない。 福岡にも大分にも住んだことがあるが、この状態は非常に残念である。例えば、京都市は景観条例があって、建物の色や高さなどが抑えられ、景観が保全されている。他都市でそのような条例が多く整備された時期に、熊本市も条例で開発を抑えることができたのではないかと思う。</p>	<p>景観条例はあるのかというお尋ねだったが、熊本市にも景観条例はある。また、環境基本条例、地下水保全条例などもある。 この江津湖を含めた環境に関しては、つい先日の「ドンドン語ろう！in東区」でも同趣旨のご意見をいただいた。ウォーターレタスやブラジルチドメグサなどの水草やブラックバスなども含め外來種が増えているので、条例を整備し駆除を進めていこうとしている。 今、わくわく江津湖フェスタを毎年開催しているが、市民参加型とし、これも一過性のイベントで終わらないようにしたい。市民の皆さんの参加型で、水草が繁茂する前に一斉に水草取りをする活動ができないかなども考えられる。また、野鳥や希少植物保護のため手を加えていない所など、江津湖周辺を歩こうと思っても雑草が生い茂って通れない状態の場所もある。私は朝から江津湖でカヤックに乗ることがあるが、湖面にはいろいろなごみが浮いており、拾いながら漕いでいる。 本市では、水草除去や湖面の清掃など鋭意努力しているところだが、外來植物の旺盛な繁殖力に苦慮しており、市民の皆様ボランティアによる除草活動でご協力いただいている。このような清掃も含めて、市民のオアシスと呼ぶに相応しい環境を整えていこうとしており、水前寺江津湖公園の環境保全と利活用を両立させることを目的に計画の策定に取り組んでいる。</p>	環境局 都市建設局	環境政策課 水保全課 開発景観課 公園課
	<p>（２）公共交通機関の整備について 私は独身で子どもがいない。今は車を運転しているが、認知症による事故なども取り沙汰されており、将来的な交通手段の確保が不安である。 3号線付近に住んでいるが、当初、熊本駅直行のバスがないことや、最終バスが8時、9時ごろであることにも驚いた。習い事で北区や中央区に出向くことも多いので、選択肢のある運行スケジュールの公共交通機関を整備してほしい。</p>	<p>公共交通機関に関しては、長期的な話になるが市電の延伸も計画していく。それと同時に、バスやコミュニティ交通の再編も考えている。 近見周辺であれば、西熊本駅ができ、そことの繋がりが良くなるので、利便性も高まるのではないかと考えている。 全体的な交通のビジョンについては、計画を年度内に策定する予定である。</p>	都市建設局	交通政策総室
	<p>（３）狭い道路について 住宅開発されている場所の道が狭く困っている所がある。御幸笹田の御幸病院から神社へ至る、セブンイレブンができた所の道路が、急に片側1車線となり、とても戸惑った。あそこは市道なのだろうか。</p>	<p>【区長】 該当箇所の道路は確かに狭く危ない状況だと認識している。離合するのに片方が停まらないといけな場所だと思う。 持ち帰らせていただき、土木センターに相談し報告する。 (現在、西部土木センターで道路改良事業を行っており、ご意見の区間に関しては、来年度（平成28年度）に2車線道路に拡幅され、離合できない状況が解消される予定である。【西部土木センター工務課】)</p>	都市建設局	西部土木センター 工務課
	<p>（４）総合計画への意見反映について 先般実施されていた5,000人抽出の市政アンケートが契機となり、このようなイベントに参加するようになった。以前、県の広域ボランティアの話し合いに参加したことがあったが、最終的には県の方である程度骨組みを決められていて、毎回参加していた話し合いの内容があまり反映されておらず、残念な思いをしたこともあった。 この「ドンドン語ろう！」や市民懇話会にも6～7回参加しているが、このような場が出た話が総合計画にどのような形で取り込まれるのか不安である。そこで、いつの会議で出した内容がどこに取り込まれているなど、視覚的に分かるような形で示してほしい。市民にはどのような形で報告されるのか教えてほしい。</p>	<p>総合計画へのご意見の反映を市民の皆様にもきちんとお示するという点については、担当部署にしっかりと伝える。 そのようなやり取りがないといけなし、当然パブリックコメントも行うが、ホームページに載せていますというだけではいけないと考えている。 (新年度に入り、計画策定の過程でいただいたご意見がどのように反映されたかを説明するとともに、計画に関する理解や市民と行政と一緒に熊本市のまちづくりに取り組んでいくための意識醸成を図るための市民の皆様との意見交換会を行いたいと考えている。【政策企画課】)</p>	市長政策総室	政策企画課
	<p>（５）地域担当職員制度のあり方について 中央区と南区で開催された「ドンドン語ろう！」にパーフェクトで参加している。今までの中で、自治会役員の方の発言が多いことが不思議である。なぜなら、ここで出たような話は、市の方で既に汲み上げているべき話ではないかと思われるからである。 そこで提案がある。マイナンバー制度実施に伴い地域担当職員が地域に入っていくとのことだが、もう少し広い範囲で、例えば総合職の各職員を●●校区●町内の担当などと地域にはり付けてはどうだろうか。そうすれば、わざわざ市民懇話会などを開催する必要もなくなるし、その職員が地域の実情を把握しアドバイスや対応などを行うことで、職員と住民の間に信頼関係の結ばれたまちづくりができるのではないかと考える。</p>	<p>地域担当職員については、先日の「ドンドン語ろう！in東区」でもご意見をいただいた。できるだけ地域に精通した人がよいと考えている。 また、市職員も地域の住民であり、職員の地域活動への参加が少ないことに対するご意見もいただいた。部署にもよるが、職員が地域活動に参加しやすいようにしていきたい。そのためにも、地域活動をすると呼びかけられるような仕組みづくりも考えながら取り組んでいきたい。</p>	市民局 総務局	区政推進課 人事課
	<p>（６）市民懇話会の実施の仕方について 市民懇話会の参加者については、3人しか参加されない回があるなど少なさが問題と感じられる中、最後の8月25日の南部は参加者がゼロで開催されなかった。 もっと周知してはどうかと提案していたが、工夫がなされていなくて残念だった。</p>	<p>市民懇話会の参加人数が少なかったということについては、公民館の予約が空いている平日の午前中など昼間ばかりで開催したこともあり、市民の皆様が参加がしづらい時間帯だったと思う。夕方や夜は、公民館でいろいろな講座が開催されており、なかなか会場が確保できないという問題もあった。 工夫がなされなかったことについては、申し訳なかった。</p>	市長政策総室	政策企画課

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>(7) 熊本市のまちづくりについて まちづくりは、4年、8年のできるものではないと思う。水前寺公園のゾーニングの問題やその他インフラの話も、30年～50年という長期スパンで考えなければならない。</p> <p>例えば、京都市は歴史を守っていくという姿勢が確立している。そこで、熊本市でも、例えば緑を守る、地域の歴史を守るなどと、全体として最低限これだけは実行していくという方向性を市のポリシーとして掲げ、強力な力をもって推進していくべきだと考える。熊本市は政令市であると同時に県庁所在地でもあり、県民から憧れられる市になってほしい。</p>	<p>まちづくりについては、おっしゃるとおり4年や8年ではできない。</p> <p>100年後の熊本はどうあるべきかということをイメージしながら、市長が替わって4、8年で見直しをしていきながらも、脈々と取り組んでいかなければならない。そのような意味でも、まず基本構想というものを作って、それに沿って総合計画のプログラムを作っていく。具体的な内容についても、またご意見をいただければと思う。</p>	市長政策総室	政策企画課
5	<p>狭い道路の拡幅について 自宅近所の道（フラワー通りと並行する舞原保育園に面した道）が狭いので、広げてほしい。一方通行になっており車がとばすので、子ども達も危ない。先日、役所にも電話したが、まだ決まっていないという話だった。</p> <p>また、フラワー通りについても、通りに面した家が3軒ほど引越しており、拡幅されるのを待っている。</p> <p>最後に、着町橋は車が大変混み合うので、新たに橋を一本架けてほしい。</p>	<p>道路の問題に関していくつかご意見をいただいたが、それぞれの場所の状況があると思われるので、担当課とも協議しながら対応したい。</p> <p>(着町橋周辺の渋滞対策として、現在、本市では城南スマートインターチェンジ及び関連道路の整備など進めているところである。事業進捗に向けて鋭意努力していくので、ご理解ご協力のほどよろしく願いたい。【道路整備課】)</p>	都市建設局	道路整備課
6	<p>(1) 通学路の危険対策について 舞原やさんさん城南を含めて200名ぐらいが毎日通学する、小学校の通学路を見ると、道幅が狭く途中は坂で曲がっており非常に危険である。登校時は上級生が先導して一列で歩いていくが、下校時はバラバラであり、事故が起きないのが不思議なぐらいである。一度現地を見て、ぜひ整備してほしい。</p> <p>また、城南に来て20年になるが、市内の他の小学校のスクールゾーンには時間規制があるのに、ここには時間規制は無く、一方通行でもない。車の方が気を付けているから交通事故は起きていないが、これから年配の方が多く運転するようになると危険が増すのではないかと思うので、早急に対策を考えてほしい。</p>	<p>通学路については、市内全域で同趣旨のご意見をいただいている。小学校校区ごとの通学路点検は全部終わっている。優先順位をつけながら、その中でもできるところから取り組んでいく。</p> <p>(通学路については、学校、教育委員会、警察と共同で毎年点検を実施している。点検により抽出された危険箇所については、計画的に対策（歩道設置、区画線設置等）を講じているところである。箇所によっては対策に時間がかかることもあるが、スクールゾーンを所管する警察と連携しながら通学路の安全性向上に努めてまいりたい。【道路整備課】)</p>	都市建設局	西部土木センター 城南地域整備室 道路整備課
	<p>(2) 熊本市の道路行政について 熊本市は道路行政が下手だと感じている。道路は狭く、信号の設置によその土地を借りて、100mぐらい棒を立てて、それを幅1mぐらいの砂利道にして通らせている。</p> <p>城南に来て20年になり、それ以前からの話だと思うが、城南では土地に対する考え方が違い、「ここは自分の土地だ」という考えが非常に強く、道路を整備しようにも、どかない方が多い。私も自分で購入した土地の固定資産税を毎年納付しており、基本的には国の土地ということである。行政で道路を整備するには当然不満が出ることもあるが、不満があっても最終的にはそうしなければならないはずである。このような状況があるので、どうかしてほしい。</p>	<p>(意見をいただいた路線は、熊本都市計画道路パイন通り線である。</p> <p>本路線は、南区役所城南総合出張所の他、下益城南中学校、火の君文化センターなどの公共施設を結ぶ道路として利用されている。</p> <p>本路線の整備については、旧城南町において平成2年より事業に着手し、工事を進めてきたところだが、一部未開通の区間が残っており、皆様には大変ご迷惑をおかけしている。</p> <p>本市と合併後は、熊本市・城南町新市基本計画や熊本市道路整備プログラムにおいて優先順位の高い整備路線として位置づけられたことから、平成32年の供用開始に向けて事業を進めているので、ご理解いただきたい。【西部土木センター城南地域整備室】)</p>	都市建設局	西部土木センター 城南地域整備室
7	<p>農業試験場跡地のD区画について 前回の「ドンドン語ろう！in南区」の際に文書で提出した意見に対する回答に、お礼を言いたい。</p> <p>農業試験場跡地のD区画について、平成7年の熊本広域都市圏創造会議で取りまとめられたアクションプログラムの中にバスターミナルをつくと謳ってある。</p> <p>平成21年に1万277名の署名を1年がかりで集め、市・県にバスターミナルの請願を出したが、未だ返事が無い。そもそも請願書が市長及び知事に届いたのか疑問に思う。</p> <p>また、県が市にD区画につき何か用途があるのか問い合わせたが、市は無いと返事したと聞いている。県はD区画に関してマンション事業者へ全国ネットで募集をかけ、申込みはあったものの折り合いがつかず、白紙になっている。</p> <p>バスターミナルの提案廃止の理由を、地元まちづくり推進協議会へ説明していただきたい。</p>	<p>農業試験場跡地のバスターミナルの問題については、後日、回答させていただきたい。</p> <p>請願書自体は届いているし、私も県会議員のころから地域のいろいろな思いがあることは承知していた。県との関係もあるので、熊本市だけでどうにかできるというものではないが、該当地域の魅力を向上させていくのは重要なことだと思うので、そのようなことについては、しっかり取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>(既存公共交通機関（JR）を利用した基幹公共交通ネットワークの利便性向上施策として、西熊本駅の開業に取り組んでいるところである。</p> <p>この西熊本駅は、西南部地域における新たな交通結節点であり、JR鹿児島本線と主要地方道熊本港線の交差する交通の要所に位置することから、駅前広場に東バイパスライナーを乗り入れて結節の強化を図るとともに、それ以外の路線についても新駅の利用状況・需要等を見ながらバス事業者と協議を進め、交通結節機能の強化に努めていきたい。【交通政策総室】)</p>	都市建設局	交通政策総室 都市政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>（1）観光について 塚原古墳や御領貝塚、阿高・黒橋貝塚の観光開発・振興をするという案が、5年前の合併時に出されていると思うが、現在どこまで進んでいるのか。恐らく進んでいないと思うので、もう少しスピードを上げて取り組んでほしい。</p>	<p>塚原古墳群等を含めた観光振興についてスピードを上げて取り組んでほしいということだったが、新市基本計画に書いてあることも含めて頑張っていきたい。</p>	<p>市民局 観光文化交流局 南区役所</p>	<p>区政推進課 観光振興課 総務企画課</p>
	<p>（2）農業振興について 城南の農業は、地域の基幹産業となっており大変重要である。地域の農産物を紹介するための物産館は整備されたが、なかなか地域の農産物をアピールするような施設になっていないので、改善案を検討してほしい。城南は農業が盛んだが、PR不足が懸念されている。</p>	<p>（「火の君マルシェ」指定管理者や出荷協議会と協議し、地元出荷者の新規開拓による品揃えの充実、生産者顔写真POPの掲示、地元農産物が目に付くレイアウト作りなど、さまざまな機会を通じた情報発信等を進め、城南地域農業のアピールを行っていく。【南区役所農業振興課】）</p>	<p>南区役所</p>	<p>農業振興課</p>
	<p>（3）国道266号線の渋滞緩和について 渋滞緩和のために、国道266号線から富合町の平原にバイパスができた。しかし、道はできたが車は通らないという状況が続き、機能していないのではないかと。国道266号線の渋滞緩和を目指しているのであれば、もう少しPRしてみてもどうだろうか。</p>	<p>（主要地方道（県道）宇土甲佐線の本原地区のバイパスについては、平成27年6月に工事が完成し、地元の皆様には供用開始のお知らせを配布し、周知を図ってきたところである。 国道266号線から宇土甲佐線方向への大型車の通行も可能となったことから、今後、警察とも協議し道路標識（案内標識）の表示の見直し等を検討したい。【西部土木センター工務課】）</p>	<p>都市建設局</p>	<p>道路整備課 西部土木センター 工務課</p>
	<p>（4）地域のまつりへの助成について 城南町には、夏祭りや大蛇踊り、盆踊り、獅子舞がある。まちの活性化、潤いづくりのためにも、これらの伝承文化を発表する場として、年1回でもよいので祭りを開催してほしい。 また、城南町の夏祭りと火の君まつりが、今年から中止になっている。合併特別区も終わり、予算がない。新しく形態を変えての実施はあったが、実際は5年で中止になっている。両方で1千万ぐらいの予算があれば、どうにか実施できる行事である。地域活性化のためには非常にいい施策なので、他の予算を削減してでも、これらの祭りに予算を回してほしい。1千万ぐらいなら、市の予算の中では何%にもならないはずなので、十分検討してほしい。</p>	<p>祭りについては、中止になったのではなく形態を変えて開催しているところなので、旧町時代の形ではなかなか開催できないことについては、ある程度ご容赦いただきたい。地域のニーズを聞きながら、皆さんと一緒に作り上げていっているところである。 地域の祭りは、世代を繋いでいくものであり、地域の一体感をつくるものであり、また、外からのお客様にも来ていただくという意味でも、良い仕組みである。そのようなことについても、全体的に取り組んでいきたい。</p>	<p>南区役所</p>	<p>総務企画課</p>
9	<p>回覧板に記載してある自治会の役職名について 城南町に住んでいるが、「区長」の役職名で自治会役員をしているところがある。その「区長」の名称で回覧板が回ってくる。 一般的に「区長」といえば、南区長だと思うが、自治会の中でも同じ名称が使用されており紛らわしいので、違いを明確にしてほしい。</p>	<p>回覧板等については、基本的には自治会長名となっているのではないかとと思うが、字名等が違って地域の区長とした方が分かりやすいということで使用されているのかもしれない。地域の状況が分からないので、南区長にも話をし、名称の統一も含め、呼び名も分かりやすくしたい。</p> <p>（旧城南町地域は平成26年度まで地区囑託員制度を敷いていたが、平成27年度から自治会制度へ移行した。囑託員の業務を担っていたのは地域の地区長であったため、現在の自治会における名称にもその名残があると思われる。名称については、刷新、浸透させていきたい。【区政推進課】）</p>	<p>南区役所 市民局</p>	<p>まちづくり推進課 区政推進課</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
10	<p>（１）城南スマートインターチェンジについて 新聞報道によると、2015年度末に開設予定のスマートインターチェンジについて、用地買収の遅れが理由で数年延期となった。実際のところ、城南スマートインターチェンジの使用開始はいつになるのだろうか。</p>	<p>城南スマートインターチェンジに関しては報道もなされていたが、現状は、用地取得予定の残り1名が難航している状況である。ただ、進捗率は97パーセントであり、地権者のご理解を得られるように丁寧な説明を継続している。また、測量設計の業務委託も既に発注している。 できるだけ早い供用開始に向け進めたいが、用地の問題もあり、しっかり丁寧に進めていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。（H27.11.6時点）</p> <p>（城南スマートインターチェンジに関しては、用地取得予定の残り1名について用地買収の目処が立ったところである。H28年1月13日にネクスコと本市で工事着手に向けた地元説明会を開催したところであり、今後は、早期の供用に向けて工事を推進していく。（H28.1.14時点）【道路整備課】）</p>	都市建設局	道路整備課 都市政策課
	<p>（２）公共交通システムの整備について 総合計画について、平成20年～平成30年までに公共交通システムの整備が予定されている。基本計画では、誰もが利用しやすい公共交通システムが整備策定されることになっているが、それについてはどうか。</p>	<p>公共交通システム再編についても、計画を年度内に策定する予定である。市電、JR、電鉄、各バス路線網の再編についても、さまざまなデータを基に公共交通システムがどうあるべきかプランを練っているところである。 先日、路面電車を使ってみようという各都市の首長が集まる鹿児島LRトサミットにも参加してきたので、このようなことも参考にしながら取り組みたい。</p>	都市建設局	交通政策総室
	<p>（３）国道266号線の渋滞解消及び小川嘉島線の整備について 基本計画では、渋滞緩和を図り安全で快適な道路環境を確保するとしているが、先ほども意見の出た国道266号線では慢性的な渋滞が起きている。 また、主要地方道小川嘉島線は、最後の緑川架橋のみが整備されていない。これまでの道路整備が全く活かされていないと思っている。熊本市としては、具体的な対策は考えているのか。</p>	<p>（国道266号の渋滞対策として、現在、本市では城南スマートインターチェンジ及び関連道路等の整備を進めているところである。事業進捗に向けて鋭意努力していくので、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひしたい。【道路整備課】）</p>	都市建設局	道路整備課
	<p>（４）都市計画区域マスタープラン改定の進捗について 県・市の都市計画区域マスタープランが平成27年3月に改正予定となっていたが、審議会の進捗はどうか。第2次マスタープラン地域別構想では、南区の都市交通体系が構想されているがどうか。</p>	<p>（熊本都市計画区域区分については、平成27年3月の都市計画審議会及び国の同意を経て、平成27年5月に決定告示をした。 平成26年3月に策定された第2次熊本都市マスタープラン（地域別構想）においては、各区におけるまちづくりの方針を定めており、その中で、城南スマートインターチェンジ（仮称）などの整備促進や公共交通の利用促進、新市基本計画に位置付けられた道路の整備推進など、都市交通体系の整備についても基本的な方針を定めている。これらの実現に向け、関係課と連携・調整を図っていきたい。【都市政策課】）</p>	都市建設局	都市政策課
11	<p>（１）南区の農業振興について 私は今、農業法人にお世話になっている。TPPが妥結したことが報道されており、国や県ではいろいろ対策を考えているようだが、市としてはどう考えているのか。南区の計画にも、農業振興とあるが、具体的にはどうするか見えてこないのか、具体化を急ぐべきではないかと思う。</p>	<p>TPPの問題については、国、県と連動して、本市も対応していく。 庁内の政策会議の中で、農水商工局長をトップに県と一緒にきちんとして対策を取るようになっている。現在、まずは現状分析と情報収集をしているところである。今後、本市の農業や産業にどのような影響があるのか、しっかりと分析していく。 国でも、新年度に向けてTPP発効に備えるための対策が講じられると思うので、遅れることなくキャッチアップしていく。国、県、市が緊密に連携を取らないといけない。県ではきちんと会議体を立ち上げているので、そこと連動しながら取り組んでいく。</p>	農水商工局 南区役所	農業政策課 総務企画課 農業振興課
	<p>（２）公共交通体系（システム）について 九州新幹線が全線開通し、熊本に停まるようになったが、利用客はあまり増えていないと聞く。 理由の一つとして、新幹線から降りて市内から阿蘇や天草に行くのに車で1～2時間かかることがあると思われる。例えば、天草までいく場合、熊本港までシャトルバスを走らせ、そこから天草へ高速船で行けるとなれば、行ってみようという気にもなりやすいのではないか。 また、空港へ行くにも1時間くらいかかる。福岡空港は、博多駅から5分程度である。 もっと交通体系を考えなければ、現状のままでは観光振興は発展しないと思う。</p>	<p>公共交通システムについては、前の方への回答と同じであり、公共交通システムの再編について計画を年度内に策定する予定である。市電、JR、電鉄、各バス路線網の再編についても、さまざまなデータを基に公共交通システムがどうあるべきかプランを練っているところである。 （上記の計画の中で、交通センターをメインターミナル、熊本駅をサブターミナルとして位置づけ、これらを基点とした公共交通ネットワークの構築について検討を進めている。これに合わせて、熊本港や熊本空港へのアクセスについても、交通事業者や熊本県等と連携し検討していきたいと考えている。【交通政策総室】）</p>	都市建設局	交通政策総室
	<p>（３）熊本城における外国語対応について 以前、仕事で福岡に行っていたが、福岡のエレベーターの案内係の方は3ヶ国語話せて、国別に使い分けていた。 熊本城は観光客が大勢訪れているというが、外国人観光客にどのように対応しているのか。海外からの観光客に対しても配慮すべきではないかと思う。</p>	<p>外国人への観光対応を含め、言葉の対応については、熊本城には観光ボランティアの中に外国語で対応できる方がいる。また、観光パンフレットも多言語化している。ガイドも含め、多言語対応ができるようにしていると共にホームページの多言語化も実施したところである。 今後は、ガイド等についても、表面的なものではなく、歴史・文化を語れる人を養成していく必要があると考えている。</p>	観光文化交流局	熊本城総合事務所 観光振興課

No.	ご意見	回答	局	担当課
12	<p>政令市発展のために必要な人材について 市長の活躍に期待しており、今回初めて「ドンドン語ろう！」に参加したが、ずっと話を聞いていると、苦情処理の会になっている。 今日は、市長に聞いてみたい点を1点に絞って来た。先ほども、人材育成という話があったが、熊本市が政令市として発展していくためには、どういう人材が必要だと考えているのか、市長としての考えを教えてください。</p>	<p>熊本市政の中でも、人材育成は極めて重要である。 職員に対しては、常に誠実かつ正直であれと言っている。事務処理ミス等も発生し、市民の皆様にはご迷惑をお掛けしているが、何かあったらどンドン私に報告するように伝えているし、報道にも出すようにしている。更に、そのようなミスを防ぐために全庁的にチェックをさせている。それでもまだミスはなくなっていないが、きちんと公表し、再発防止に向け緊張感を持って業務に取り組むよう促しているところである。 また、私が、人材の中でも重要だと考えるのは、きちんとしたコミュニケーション能力である。地域の皆様の声をきちんと聞く姿勢が重要だと考えている。例えば、本日この会に参加されている皆様も、役所に相談し、予防線を張られるような対応をされたことがあるかと思う。たしかに、役所は「すぐにできる」とは言えないことが多い。組織の体質もあるのかもしれない。 しかし、まずは、しっかり市民の皆様の話聞いて、それを受け止めることが大事である。生活の中で困ったことやご意見をしっかりと受け止め、そこから地域のニーズを吸収して政策に反映させるようにしていきたい。また、効率的で無駄がない先進的な取り組みをしている他都市に学びに行くことも重要である。 市役所も区役所も、つまるところは人だと思ふ。どンドン地域に飛び込みコミュニケーションを図ることができるような人材育成に取り組んでいくことが、市民の皆様にとってもプラスになると思う。 何かご要望・ご意見があれば、南区のことであれば区長に、市のことであれば私に伝わるようにと、言っていたいただいて構わない。「市長への手紙」などもあるので、回答までに時間はかかるが、きちんと目を通して。さまざまなご意見をトップとしてきちんと把握しなければという姿勢で臨んでいる。市職員には、地域にもどンドン飛び込んでいき、自信をもって仕事ができるよう頑張してほしい。</p>	<p>総務局 南区役所</p>	<p>人事課 人材育成センター 総務企画課</p>
13	<p>(1) お達者文化会館の陶芸教室について 高齢介護福祉課が所管するお達者文化会館に、昨年10月、陶芸講座が開設された。 それ以前は、出仲間に幸田陶芸教室があり、定員80名だった。今は定員48名だが、教室が狭い。講師をしており、狭いので講座生の後ろから回って一人ひとり教えているが、後ろからの指導はやりづらい。当然予算もあるだろうが、もっと広いところがほしい。建物はすぐにとはいかないだろうが、願いたい。 また、窯棟と作業棟の間が空いており、冬は寒い。流し台も外に設置してある。高齢者ばかりなので、事故などがないか心配している。 更に、プレハブなので、夏は暑い。窓を4ヶ所開けて、扇風機も4台使っているが、夏の室温は30度を超す。小まめな水分摂取は呼びかけているが、それで十分とは言えない。市にエアコン設置を要望しているが、予算がないと聞いている。</p>	<p>お達者文化会館の陶芸講座が開かれていいる施設につき、安全性も含め環境を整備してほしいというご要望をいただいたので、南区長にも一度現地を確認してもらって、時間があれば私も確認したいと思う。 今すぐにスペースを広げるというのは難しいかと思うが、確認したい。 (お達者文化会館のほか、老人福祉センター等10以上の市の高齢者施設については毎年度修繕や改修を行うための予算を確保しており、他の施設の利用者からも多くの要望がある中、緊急性の高いものや、法的に不備が発生した部分等についての修繕に優先順位をつけたうえで実施している。 施設拡充等の作業環境の改善に関する要望については、優先順位が低くなり実施困難であるのが実状であり、現状の施設の維持管理と有効活用について理解いただきたい。【高齢介護福祉課】)</p>	<p>健康福祉子ども局</p>	<p>高齢介護福祉課</p>
	<p>(2) バスの利便性向上（増便と乗り換え）について 国道57号線東バイパス沿いに住んでいるが、バスが1時間半に1回しか来ない。それも目的地へは行けない。乗り換えるにも、どこで乗り換えるのか分からない。 そこで、3号線まで出れば20分おきにバスはあるが、体が悪いので長く歩けない。立ち続けるのもきついが、健康な足でも10分はかかる距離である。土日はバスの便もないので、仕方なく3号線に行くにしても遠く、タクシーを使うことがある。 不便なので、バスの便をもう少し増やしてほしい。大型バスは必要ないので、マイクロバスか、それも厳しければ、もっと小さな車両でも構わない。 最後に、バスの乗り換えをしやすいようにしてほしい。以前、札幌に住んでいたが、札幌市内は料金一律になっていた。また、乗換券があり、自家用車より早く目的地に着いていた。</p>	<p>(既存路線バスの運行本数については、現状の利用状況等からの採算性を考慮して設定されているものであり、バス事業者としても厳しい経営状況の中、出来る限りの運行本数の確保には努められているところと考えている。 しかしながら、本市としては、ご指摘の内容も視野に入れながら、市中心部から郊外部へ伸びる各基幹公共交通軸における分かり易い乗換拠点の設定・整備や東バイパス等の幹線道路をベースとした環状線の導入検討など、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた「熊本地域公共交通網形成計画」の本年度末策定を予定しており、マイクロバス等を活用した新たなコミュニティ交通の導入検討を含め計画に掲げる各施策・事業に鋭意取り組んでいきたい。【交通政策総室】)</p>	<p>都市建設局</p>	<p>交通政策総室</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
14	<p>相続放棄された空家の問題について 実は今困っていることがあり、この会に参加した。 父が亡くなり土地を相続したのだが、建物を建てて住んでいた借主も亡くなり、相続人に更地にして返してもらえるものと思っていたところ、その相続人が相続放棄をされた。 相続放棄した相手は市役所の職員だったので、市役所の本庁へ聞きに行ったが、プライバシーということで情報を教えてもらえなかった。今、何かにつけ、このプライバシーというものが出てくるが、老朽化した空き家で周囲から苦情も多く出ているような状況であり、人が近づかないよう何とかロープを張ったりしてしのいでいる状況である。 現在、市でも空き家対策を行っていると思う。今も、建築指導課には相談に行き、大変丁寧な対応をしてもらっているが、なかなか話が進んでいない。 私自身も自費で解体しなければならないかと思うが、固定資産税も納めていて、家賃については未回収のなか、相手方の住所は教えてもらえない状況であり、相手方の姿勢が問題になっているのだと思う。ぜひ、このような苦情の窓口をつくっていただきたい。 また、なかなか情報開示がなされないことも不満である。父が亡くなり固定資産税のことで相談した際にも、「これについてはちょっと説明できない。」と言われたことがある。親子間の相続に関する情報は開示しても問題ないと思うが、教えてもらえない。このようなことから、信頼関係が損なわれる。もっと情報を開示するなり、どの情報から出せない、どの役職から対応できないなど明確にしてほしい。 最後に、公証人役場で遺言書を書く際に立ち会う証人が、市の外郭団体であるシルバー人材センターから派遣されている。このようなことは、不公平を生み出すという側面もあり、少しおかしいのではないかと考えている。このような苦情等をきちんと聞いてもらえる、市長に直結した窓口がほしい。</p>	<p>一連のお話を伺い、いろいろご苦労されており大変だろうと察するところだが、個人財産や税情報等に関しては、簡単に開示できない法律上の縛りがある。個人情報保護法の問題もあるので、市の職員であることは関係なく保護される部分がある。 特に財産関係については、慎重に扱わなければならない部分もあらうかと思われるので、担当部署で調べて、ある程度ご説明もできると思う。 個人の財産をどうするかについては、民法上の問題、財産法上の問題もあり、微妙で難しい部分もあるが、空き家対策を強化していくにあたり、これから益々複雑なケースも出てくるものと思われ、建築指導課においても、この空き家対策も含めて頭を悩ませながら取り組んでいるところである。 本市が建物を解体するということとはできないが、建築指導課でも状況は把握しているものと思われるので、今回いただいたご意見を伝え、改めてご連絡をさせていただきたい。</p> <p>（当該家屋については、今回いただいたご意見の情報を基に現地調査を行い、安全上問題があると判断し、建物の所有者等に適正管理する旨の助言を行っている。【建築指導課】）</p> <p>（固定資産税情報については、戸籍等で相続人であることが確認できればお教えすることができる。対応した職員の説明不足については、お詫び申し上げます。【課税管理課】）</p> <p>（事後、改めて事情を伺い、その内容を建築指導課にも情報提供した。また、各種相談（法律相談・相続登記相談等の特別相談）をご案内した。【広聴課】）</p>	<p>都市建設局 財政局 市民局</p>	<p>建築指導課 課税管理課 広聴課</p>